

四次元への招待 (1969)

NIGHT GALLERY

メディア TVM

ジャンル SF ファンタジー

製作国 アメリカ

時間 98分

公開情報 劇場未公開・ビデオ発売

【解説】

TV「ミステリー・ゾーン (トワイライト・ゾーン)」のロッド・サーリングが、同じく脚本とホストを務めた怪奇オムニバス。①「復讐の絵画」。画家であった叔父の死によって屋敷を受け継いだ強欲な甥は、屋敷の眼前に広がる一族の墓地を描いた一枚の絵が奇妙に変化していること知る。その絵の中で、墓場から叔父が蘇ろうとしているのだ。やがて、絵の中の叔父は一步一步屋敷に近づいて来る……。②「アイズ」。傲慢な女財産家はその見えない目を一時でも治そうと、巨額を払って移植手術を受ける。彼女に視力が戻るのは数十時間だけ。だが、包帯をとった一瞬だけ明かりは見たものの、彼女はすぐまた暗黒に連れ戻されてしまった……。③「絵になった男」。逃亡を続けるナチ戦犯はとある美術館にかかっていた、湖で釣りをする男を描いた絵に心を奪われていた。やがて、警察の捜査が迫った時、美術館に逃げ込んだ男が祈った願いとは……。絵画をモチーフとし展開される幻想的な物語はユニークなものだが、3作中ではB・セイガルの担当した第1話が一番良く出来ている。ビデオ発売より以前、「怪奇! 真夏の夜の夢」の題でTV放映(90分枠)された際にはスピルバーグ担当のエピソードはカットされていた。

【クレジット】

| | | |
|-----|----------------|--------------------|
| 監督 | ボリス・セイガル | Boris Sagal |
| | スティーヴン・スピルバーグ | Steven Spielberg |
| | バリー・シアー | Barry Shear |
| 製作 | ウィリアム・サックハイム | William Sackheim |
| 製作補 | ジョン・バダム | John Badham |
| 脚本 | ロッド・サーリング | Rod Serling |
| 撮影 | リチャード・バチェラー | Richard Batcheller |
| | ウィリアム・マーガリーズ | William Margulies |
| 編集 | エドワード・M・エイブロムス | Edward M. Abrams |
| 音楽 | ビリー・ゴールデンバーグ | Billy Goldenberg |
| 出演 | ロディ・マクドウォール | Roddy McDowall |
| | オシー・デイヴィス | Ossie Davis |
| | ジョージ・マクレディ | George Macready |
| | ジョーン・クロフォード | Joan Crawford |
| | バリー・サリヴァン | Barry Sullivan |
| | トム・ボスレー | Tom Bosley |
| | リチャード・カイリー | Richard Kiley |
| | サム・ジャッフエ | Sam Jaffe |
| | ノーマ・クレーン | Norma Crane |